

2024年3月22日
泉佐野市

U・P・S 株式会社から 企業版ふるさと納税による寄附を賜りました

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、U・P・S 株式会社(本社:埼玉県朝霞市、代表取締役:内田 亮)から、子ども食堂を支援する「子どもの未来応援プロジェクト」(以下、本事業という。)に対して、企業版ふるさと納税による寄附を賜りました。

本事業は、寄附金を活用し、市が泉州地域の食材(米や野菜など)を買い上げ、寄附企業が指定する地域の子ども食堂に提供するものです。今回は、U・P・S 株式会社の本社所在地である朝霞市内の子ども食堂を支援します。

U・P・S 株式会社は、給排水衛生設備事業を中心に、住宅設備事業や宿泊施設の改修事業を展開されています。また、「食で地域と未来を明るく」をコンセプトに、子ども食堂「あさかみらいこども食堂」を運営されるなど、積極的な社会貢献活動に取り組まれています。

U・P・S 株式会社について(<https://ups2007.co.jp/>)

2007年「給排水衛生設備事業」を皮切りに「住宅設備事業」や「ホテル設備改修工事」「リノベーション事業」などを運営。安心できる【水】の衛生的な供給・給排水における高い信頼性、毎日の笑顔と当たり前の日常を守っていきたい。お客様のお声を大事にし、皆様の豊かな生活を願って取り組んでおります。

泉佐野市について(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約56.51平方キロメートル、人口は約10万人の都市で、平成6年9月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:檜(ひのき)

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp

2024年3月22日
泉佐野市

株式会社アグニ・フレアから 企業版ふるさと納税による寄附を賜りました

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、株式会社アグニ・フレア(本社:横浜市、代表取締役:稲葉 剛士)から、子ども食堂を支援する「子どもの未来応援プロジェクト」(以下、本事業という。)に対して、企業版ふるさと納税による寄附を賜りました。

本事業は、寄附金を活用し、市が泉州地域の食材(米や野菜など)を買い上げ、寄附企業が指定する地域の子どもの食堂に提供するものです。今回は、株式会社アグニ・フレアの本社所在地である横浜市内の子どもの食堂を支援します。

ゲームや映像作品のグラフィックを制作されている株式会社アグニ・フレアは、SDGsの推進に注力されており、大学との産学協同の取り組みなどを通じて、人材育成や文化振興を推進されています。この度、子どもの貧困対策や子育て支援を推進する本事業に共感をいただき、寄附を賜る運びとなりました。

株式会社アグニ・フレアについて(<https://www.agni-flare.com/jp/>)

2010年に創業しました神奈川県横浜市を拠点とするCG会社です。特に「リアルタイムVFX」の制作に強みを持ち、様々なゲームや映像作品のグラフィックス制作に参加しています。また業界全体を盛り上げたいという思いからVFX技術を競う国際大会の主催や環境問題をはじめとする社会課題の解決を目指してSDGsの取り組みにも力を入れています。

泉佐野市について(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約56.51平方キロメートル、人口は約10万人の都市で、平成6年9月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:檜(ひのき)

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp

2024年3月22日
泉佐野市

株式会社オーエヌテクノロジーから 企業版ふるさと納税による寄附を賜りました

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、株式会社オーエヌテクノロジー(本社:大阪府八尾市、代表取締役社長:細川 光裕)から、子ども食堂を支援する「子どもの未来応援プロジェクト」(以下、本事業という。)に対して、企業版ふるさと納税による寄附を賜りました。

本事業は、寄附金を活用し、市が泉州地域の食材(米や野菜など)を買い上げ、寄附企業が指定する地域の子ども食堂に提供するものです。今回は、株式会社オーエヌテクノロジーの本社所在地である八尾市内の子ども食堂を支援します。

今年で創業60周年を迎えられた株式会社オーエヌテクノロジーは、工業用ゴム製品、非金属伸縮継手の製造・加工・販売をされています。「自利利他」を経営理念として、地球環境に負担をかけない持続可能なモノづくりを追求されているとともに、SDGsの取組みにも注力されています。

株式会社オーエヌテクノロジーについて(<https://www.ontech.jp/company.html>)

1964年創業以来、工業用ゴム製品および非金属伸縮継手の製造・販売、そして大型工業部品の梱包・物流の担い手として確かな技術とサービスを提供させて頂いております。次世代につながる地球環境に負荷をかけない製造のありかたを追求しており、近年はSDGs活動に積極的に取り組んでおります。

泉佐野市について(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約56.51平方キロメートル、人口は約10万人の都市で、平成6年9月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:檜(ひのき)

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp

2024年3月22日
泉佐野市

株式会社ベルクから企業版ふるさと納税による寄附を賜りました

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、株式会社ベルク(代表取締役社長:原島 一誠)から、「e スポーツ MICE コンテンツ実証事業」(以下、本事業という。)に対し、企業版ふるさと納税による寄附を賜りました。

本市は、「世代・言語・体力差」といった障壁を超えて取り組みやすい e スポーツの強みを活かし、多様な人々の交流を促進し、地域における共生社会の実現と地域経済の活性化をめざして e スポーツの推進に取り組んでいます。今月末には、現役のプロ e スポーツ選手やクリエイターに直接触れることで、楽しみながら学ぶことができる職業体験イベント「e スポーツゲームクリエイターアカデミー2024 春」*を開催します。この度、これらの取組みに共感をいただき、寄附を賜る運びとなりました。

株式会社ベルクは、「地域社会の人々により充実した生活を」を経営理念に掲げ、関東エリアを中心に 130 店舗以上の食品スーパーマーケットを展開し、地域住民の豊かな生活を支えています。また、エネルギー使用量の削減による環境負荷の低減や産学連携による食育活動に取り組まれるなど、サステナブルな社会の実現に貢献されています。

賜りました寄附金は、e スポーツゲームクリエイターアカデミー2024 春の開催をはじめ、本事業を効果的且つ継続的に実施するために、活用させていただきます。



*「e スポーツゲームクリエイターアカデミー2024 春」の詳細は、e スタジアム社の特設ページをご参照ください。
(特設ページ): <https://e-stadium.jp/2024/02/27/esports-create-academy-2024/>

株式会社ベルクについて(<https://new.belc.jp/>)

ベルクは、1959年埼玉県秩父市に「主婦の店」としてスタートし、現在では関東エリアを中心に130店舗以上展開しています。



スーパーマーケット「ベルク」の特徴について

- 【1】標準化された店舗フォーマット
→買い回りしやすい約600坪の売場と広い駐車場
- 【2】効率経営によるローコストオペレーション
→売場や作業手順を統一化することで効率化を実現
- 【3】自社物流センターの保有
→配送効率を高め、お求めやすい価格と安定した品質の商品を提供

泉佐野市について(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約56.51平方キロメートル、人口は約10万人の都市で、平成6年9月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:檜(ひのき)
Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp

2024年3月22日
泉佐野市

株式会社徳信商会から 企業版ふるさと納税による寄附を賜りました

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、株式会社徳信商会(本社:大阪府八尾市、代表取締役:田中 博)から、子ども食堂を支援する「子どもの未来応援プロジェクト」(以下、本事業という。)に対して、企業版ふるさと納税による寄附(100万円)を賜りました。

本事業は、寄附金を活用し、市が泉州地域の食材(米や野菜など)を買い上げ、寄附企業が指定する地域の子どもの食堂に提供するものです。今回は、同社の意向により、泉佐野市と東大阪市内の子どもの食堂を支援します。

株式会社徳信商会は、「より良い暮らしの実現」をコンセプトに掲げ、ガス機器事業や住宅リフォーム事業を通じて、地域の豊かな暮らしに貢献されています。また、令和3年度から毎年、泉佐野市へ寄附をしていただくなど、地域経済の活性化に貢献されています。

株式会社徳信商会について(<https://gaspro.jp/>)

昭和48年に泉佐野市に泉佐野ガスセンター(現 泉佐野・貝塚ガスセンター)を出店し、ガス機器事業に加えリフォーム事業にも注力しております。これからも地域のお客様から愛される会社作りを目指し、最高のサービスを提供していく所存でございます。

泉佐野市について(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約56.51平方キロメートル、人口は約10万人の都市で、平成6年9月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:檜(ひのき)

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp

2024年3月22日
泉佐野市

日本プラント株式会社、株式会社 JPS から 企業版ふるさと納税による寄附を賜りました

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、日本プラント株式会社(本社:兵庫県尼崎市、代表取締役:塩谷 泰行)及び子会社の株式会社 JPS(本社:兵庫県尼崎市、代表取締役:塩谷 孝博)から、企業版ふるさと納税による寄附(計 150 万円)を賜りました。

賜りました寄附金は、「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」に有効活用させていただき、社会課題の解決や地域の活性化に取り組んでまいります。

日本プラント株式会社及び株式会社 JPS は、「社会の繁栄と環境保全に貢献する」という企業理念のもと、ボイラ保全総合管理業務を中心に、環境保全に配慮した事業を展開されています。また、令和3年度から毎年、泉佐野市へ寄附をいただいているほか、今年 1 月には泉佐野市内に営業所を新設されるなど、地域経済の活性化に貢献されています。

日本プラント株式会社について(<http://nihonpuranto.com/index.html>)

当社は昭和 46 年 9 月に、ボイラ保全総合管理業として創立しました。現在、ボイラー保全・清掃工場のメンテナンス及びプラント建設を主に受注し信用と誠実を旨として需要各位のご要望にお応えし、まい進しております。

株式会社 JPS について

平成 28 年 8 月に日本プラント株式会社の子会社として設立しました。安全と技術の向上を目標に掲げ、信頼のおける企業を目指しております。

泉佐野市について(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。面積は約 56.51 平方キロメートル、人口は約 10 万人の都市で、平成 6 年 9 月に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21 世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:檜(ひのき)

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp